

水しぶきと共にはじける
情熱を伝える会報誌

飛沫 Vol.26

同志社大学水泳部OB・OG会 | 2017.December

第93回 日本学生選手権 水泳競技大会

“必笑”というキャプテンの言葉を胸に 戦い抜いた三日間(9/1～9/3)

大会の様子

チーム一丸となって挑む大会、DUSの名前を背負って戦った選手たち



応援

声を枯らし、全力で応援!!



泳は相手があって結果が決まるものですが、その相手を凌駕する「強さ」を肉体的にも精神的にも身に付けなければ勝ち抜けません。今回の結果から我々はラストに競り勝つ強さを得なければならぬと強く思いました。レースそのものはありませんが、

最後にあります。が、現役の活躍に大声を張り上げることは実に楽しく、たず。青春を取り戻すとは大きな喜び。それ以上に、同志社OB・OG会として、インカレにおいて同志社の旗の下で一丸に応援しよう。

リレーは燃えますね。応援席全体が一つになって声を張り上げ盛り上がり、初日と最終日の二日間、ラッタブドームに足を運びました。「さあ、これだけ快哉を叫べばいいからスタンドに陣取ります。様々な代のOB・OG始め、保護者の方々も気合が入っています。今年の同志社大学の応援所は、コース中ほどでブル全体がすっきりと見渡せるとも良い席ではあります。か。(そりゃ、シード枠のブルサイド席の臨場感にはかないませんが)。

初日の男子四継では、同志社新記録を出しながらもA決勝4位に終わりました。(それでも)

インカレ観戦記 同志社大学体育会水泳部 OB・OG会 副会長 藤田周士



試合後にスタンド裏で悔し涙をこぼす部員がいました。その姿に、一人ひとりの胸の内にくすぶる「満足しきれない」という思いが伝わってきました。大学生活はアツと言いつつ、社会に出てからのほうがもっと長いぞ!今の気持ちを糧にして、どんな困難にも立ち向かえよ!と、エールを送りたい気持ちで一杯です。

幹部も交代し、来年のインカレに向けて動き始めました。OB・OG会としても、現役たちと共にシード権獲得に向けて懸命に努力を続けてゆく所存です。会員の皆様におかれましては、今まで以上のご支援をお願いいたします。そして、インカレの旗の下で一丸に

第93回日本学生選手権水泳競技大会 マーメイドカップ チーム2位 デュエット2位



今年のインカレは4年生大東・川本・早川・細川にとあっては引退試合であり、昨年の後悔をバネに挑んだ試合でしたが、結果は準優勝という成績に終わってしまいました。

しかし、私達にとってこのインカレにける思いは特別なです。それは約12年間、同クラブチームで共に戦い続けてきた5人が、気持ちを一つに、クラブチームとしてではなく同志社大

学の選手として誇りを持って泳ぎることができたことです。このように感じる事ができるのは、周りの方々の支えがあったからだと思います。監督を始めOB・OGの皆様、先輩後

輩そして両親には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今年は優勝に導くことはできませんでしたが、来年後輩達が輝けるようOGとして応援し続けて行きたいです。

デュエット

山崎選手(スポ健2)・細川選手(商4)



チーム

大東選手(スポ健4)・川本選手(スポ健4)・早川選手(スポ健4)・細川選手(商4)・山崎選手(スポ健2) (順不同)



来る平成30年3月10日(土)に
「平成29年度OB・OG総会ならびに卒業生追い出しコンパ&新入生歓迎会」が開催されます。

詳しくは後日出欠ハガキを送りたいしますので、ご参加お待ちしております。

「同志社スポーツの歩み第三版」発行に向けてのお願い

1960年に初版が発行されました「同志社スポーツの歩み」の第三版が発行される事になりました。本年9月に第1回編集委員会が開催され、4年後の2021年7月に10,000冊の発行に向けて、各クラブ単位での編集作業を開始しました。水泳部の編集委員として、岩田(H9商)と眞柴(H11商)が担当させていただくことになりました。よろしく願い致します。早速ですが最初の作業として、OB・OGの皆様から「写真」「器物」「資料」のご提供をお願い致します。今まで水泳部が発行してきた記念誌等に更に加筆してスポーツユニオンに提供したいと考えております。皆様ご多忙の時期とは存じますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



▲初版

ご提供物の詳細

- 写真 ① 撮影日、撮影内容をご記載ください。不詳の場合は「昭和30年ごろ」「不詳」も可です。
② オリジナルが無い場合は、本などの印刷物でも可です。(写真の説明を添付ください。)
③ 国際大会(五輪、ユニバーシアード、世界選手権、アジア大会、ワールドカップ等)での写真は競技写真だけではなく、表彰式や選手村・懇親会、交流セレモニー等で他国の方々やライバル選手と一緒に写っている写真(スナップや記念写真)もご提供ください。
- 器物 歴史的に貴重な用具、ユニフォーム、表彰状やトロフィーなどを写真撮影の上、ご提供ください。
- 資料 出来事の典拠となったニュース、新聞・雑誌、またはそれらのスクラップなど、および出版物など。

----- 大変お手数ですが、送付いただく前に一度岩田が眞柴にご連絡頂きますようお願い致します。 -----

締切:2018年2月10日

送付先:553-0001 大阪市福島区海老江5-5-7 株式会社一向社 岩田・眞柴宛 メール送信先:kanri_iwata@ikkosha.co.jp
TEL 06-6451-2437 / FAX 06-6451-2625

第93回日本学生選手権水泳競技大会 in東和薬品ラクタブーム(50M) 結果ご報告



団体の総合順位

男子 85点/12位

女子 41点/14位



A決勝(1~8位を決定)

● 個人の成績			
男子200m自由形	蟹由 恭平	1-49-83	予選4位
		1-49-76	A決勝5位
男子400m自由形		3-52-80	予選4位
		3-52-54	A決勝5位
男子100m自由形	河野 元斗	50-31	予選8位
		50-25	A決勝8位
女子200mバタフライ	末吉 萌	2-12-92	予選7位
		2-13-59	A決勝7位
● リレーの成績			
男子400mフリーリレー	河野 元斗	50-43	
	蟹由 恭平	49-94	
	川村 聖輝	50-89	
	福原 賢二	50-64	
	トータル	3-21-90	予選4位
	河野 元斗	50-25	
	蟹由 恭平	49-68	
	川村 聖輝	51-00	
	福原 賢二	50-60	
	トータル	3-21-53	A決勝4位



B決勝(9~16位を決定)

● 個人の成績			
男子50m自由形	河野 元斗	23-17	予選14位
		22-96	B決勝2位
男子200m個人メドレー	尾崎 友樹	2-03-46	予選15位
		2-03-21	B決勝6位
女子200mバタフライ	安達 未莉	2-14-43	予選16位
		2-12-34	スイムオフ
		2-13-82	B決勝4位
女子100m自由形	石井 千尋	57-36	予選12位
		57-40	B決勝6位
女子100m背泳ぎ	小宮 紅葉	1-03-57	予選16位
		1-03-27	B決勝4位
● リレーの成績			
男子800mフリーリレー	蟹由 恭平	1-50-10	
	尾崎 友樹	1-52-61	
	佐藤 正都	1-52-13	
	福原 賢二	1-50-96	
	トータル	7-25-80	予選11位
	蟹由 恭平	1-50-58	
	尾崎 友樹	1-53-87	
	佐藤 正都	1-52-58	
	福原 賢二	1-53-02	
	トータル	7-30-05	B決勝6位
女子800mフリーリレー	水谷 利花子	2-06-48	
	安達 未莉	2-04-84	
	末吉 萌	2-06-77	
	石井 千尋	2-04-79	
	トータル	8-22-88	予選14位
	水谷 利花子	2-05-37	
	安達 未莉	2-04-36	
	末吉 萌	2-07-21	
	石井 千尋	2-03-86	
	トータル	8-20-80	B決勝4位
女子400mメドレーリレー	小宮 紅葉	1-03-40	
	阿部 渚	1-12-82	
	安達 未莉	1-01-63	
	石井 千尋	56-67	
	トータル	4-14-52	予選14位
	小宮 紅葉	1-03-46	
	阿部 渚	1-12-41	
	安達 未莉	1-01-05	
	石井 千尋	56-95	
	トータル	4-13-87	B決勝6位

競技の様子

「0.1秒でも速く!!」とチームの為に奮闘した選手たち



第3回 DUS記録会



正しいフォームを
アドバイス!



秋晴れの10月1日、同志社大学体育会水泳部及びOB・OG会は、第3回DUS記録会を京田辺キャンパスプールで開催しました。

京田辺プールの温水化を契機に、地域貢献とちびっ子スイマーとの交流を目的としたDUS記録会も第3回を迎え、小学生から高校生までの123人のスイマーが集まりました。

普段は大会に出場する側の現役学生が運営側に回り、戸惑いながらも招集係(泳ぐ子供達を集める役割)や通告係、スタート係、タイム計測係などに分かれ、それぞれ役割を分担しました。

大会は最初に秋野OB・OG会長のあいさつの後、水泳部新主将の橋本凌輔によるルール説明と樋口監督の解説で現役水泳部員が4泳法の模範泳法を行いました。

競技の部では近隣スイミングで水泳部OBが経営する城陽SSやJSCオタナベをはじめ、同志社香里中学、高校3校の合計6団体123人が198種目が行われました。

好天にも恵まれ、温水化された屋外長水路で選手たちは一生懸命泳いでいました。また保護者の方も熱心に観戦されていました。

競技の後は、恒例となりました、現役水泳部員による「ノンポイントレース」を行いました。

4泳法やスタート

この度、同志社大学体育会水泳部コーチに就任しました、西能正剛です。11月から、同志社大学の専任職員として、同志社大で働くこととなりました。ご縁があり、水泳部のコーチもさせて頂いたところで、少しでも嬉しく思っています。一杯コーチングをさせて頂いた皆さまが、同志社大学職員の仕事がいかに大変で、仕事の前後に練習に行くことになり、これまでの専任コーチのように全ての練習や合宿、試合に陪同できるわけではないというところをご理解いただきたく思います。

私は、3年前のシード権獲得時に主将を務めさせて頂いていました。その後、アメリカの南カリフォルニア大学に留学し、TROJANS SWIM CLUBというプロチームでDave Sanoヘッドコーチの元、練習をしていました。そのチームには、世界中から集まって来たオリンピックメダリスト、オリンピック選手

ご挨拶

水泳部コーチ
西能 正剛



が多数在籍していましたが、世界記録保持者のライアン・ロクメも途中からチームに加入し、共に練習しました。私は、日本では経験できなかった世界トップレベルでの練習や、最先端のトレーニングを経験しました。この経験同志社大学水泳部に活かしたいと考えています。

今後、短期的な目標として、インカレ男子シード権獲得、関カレ総合優勝を考えています。長期的には、インカレで上位入賞、世界大会オリンピック選手への排出を目標にしています。

今シーズン、インカレ男女総合10位を目標に10月からチームを指導しています。個人のレベルを上げるのはもちろんですが、チーム力としての高めることも重要だと考えています。選手全員がチームを誇りに思い、チームのために全てを捧げたいと思います。

練習量は多いと思いますが、一緒に練習していきましょう。

同志社大学 体育会水泳部 幹部交代のご挨拶

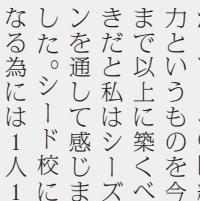
橋本 凌輔
主将



この度、主将を任せられることになりました。橋本凌輔です。9月に行われた日本学生選手権を終えて、4回生の力というものがどれだけ大切かということになりました。4回生としては最後の日本学生選手権であり、目つき、試合に挑む姿勢が下級生とは違い、泳ぎでも他の選手より精銳のチームで1人でも多く決勝に進出しなければなりません。苦しい時にこそチームの力が抜けた今、チームの力、個々の力をつけて頂きたいと思います。

また、学生には同志社大学水泳部での4年間で、人間的に成長し、水泳以外にも多くのことを学んで欲しいと思います。私も、学生にそのために、水泳部の4年間で、人間的に成長し、水泳以外にも多くのことを学んで欲しいと思います。

長尾 悠太郎
主務



この度、水泳部主務を務めさせて頂くことになりました。長尾悠太郎です。この一年は選手として、主務として人間関係の底から応援し、背中を押すことが必要だと思います。日本学生選手権では、全員がベストを更新するのには難しいです。でも、私達には、部員が少なく、1人の選手でも欠けたら結果を残すことができません。苦しい時にこそチームの力が抜けた今、チームの力、個々の力をつけて頂きたいと思います。

また、学生には同志社大学水泳部での4年間で、人間的に成長し、水泳以外にも多くのことを学んで欲しいと思います。私も、学生にそのために、水泳部の4年間で、人間的に成長し、水泳以外にも多くのことを学んで欲しいと思います。

小林 雄一郎
副主将



この度副主将を務めさせて頂きました。小林雄一郎です。私からは自分得ていることを2点述べさせて頂きます。1点目は主務を務めさせて頂いたこと、2点目は、主務として、選手として、人間関係の底から応援し、背中を押すことが必要だと思います。日本学生選手権では、全員がベストを更新するのには難しいです。でも、私達には、部員が少なく、1人の選手でも欠けたら結果を残すことができません。苦しい時にこそチームの力が抜けた今、チームの力、個々の力をつけて頂きたいと思います。

また、学生には同志社大学水泳部での4年間で、人間的に成長し、水泳以外にも多くのことを学んで欲しいと思います。私も、学生にそのために、水泳部の4年間で、人間的に成長し、水泳以外にも多くのことを学んで欲しいと思います。

鈴木 仁也
副主将



今年度副主将を務めさせて頂いたこと、三回生の鈴木仁也です。今年度の水泳部の最終目標として、日本学生選手権で男子、女子共に100点以上を獲得を目指しています。それには選手一人一人の力の底上げが必須になります。そこで私は個人の實力を向上させる事はもちろん、チームの士気を上げ、目標に向かう雰囲気をつくる事をチームメイトの考えを聞き、頑張り

としてチームを引っ張っていきけるような存在になりたいと思っています。主務として、は円滑なチーム運営をし、外部の方々との交流を深め同志社大学水泳部をより良い部にできよう緑の下の方を待ちとして励んでいきます。選手としては主務の役割も果たしつつも、

終目的地のインカレまで様々な試練が待ち受けているかと思っています。辛い場面やプレッシャーのかかる場面で助けられるのが仲間です。仲間の大切さを部員に伝えていくのが私の役目だと思っています。これからもよろしくお願いします。

やすい環境を整えるなどのサポートを副主将として行っているかと思っています。そこからチーム全体の底上げを図り、チーム力、結束力にも繋がっています。まだまだ未熟者ですが、チームと共に成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。